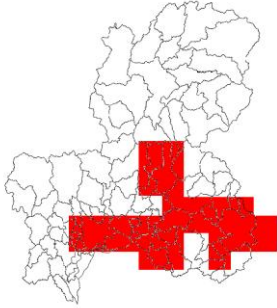


イヌセンブリ	<i>Swertia tosaensis</i> Makino	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		リンドウ科
選定理由	個体群は減少の一途をたどっているうえ、現存する個体群の中でも個体数が減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	高さは30 cm以下である。花冠の内側(上面)は白色で、主脈沿いは淡暗紫色になる。蜜腺は花冠裂片の基部にあり、両側に多数の白くて長い縮れ毛がある。	
生態的特徴	湿地に生育する1年草。花期は9-10月。	 
分布状況	日本と中国に分布し、日本では本州、四国、九州に見られる。岐阜県では県南の中部と東部濃の標高300m以下にあるが、産地は少ない。	
減少要因	湿地の開発・埋め立て。	
保全対策	生育する湿地の保全。	
特記事項	道路工事による影響あり。	
参考文献		

文責:高橋弘